

区分・種別	重要文化財(工芸品)		
名称	たち 太刀 1口		
所在地	松山市堀之内(愛媛県美術館)		
所有者	伊佐爾波神社	管理団体	
指定年月日	昭和3年4月4日		
解説	<p>刃長77.7cm、反り^そ2.6cm、鑄造^{しのぎづくり}、庵棟^{いおりむね}、鍛え^{きた}は板目がよくつんでいる。刃文は直刃^{すぐは}、丁字交りで、小沸^{こにえ}がついている。全体の姿は反りが深く華やかで、重ねも厚く品位がある。茎^{なかご}は生ぶ、鑢目^{やすりめ}は切、目釘穴は3個である。「国行」の2字銘が刻してある。</p> <p>鎌倉時代の作で、作者の来国行は山城国来派の名工である。</p> <p>この太刀は寛文5(1665)年松山藩主松平定長が武運長久と一門の繁栄を祈願して、伊佐爾波神社に奉納したものと伝えられている。</p>		

